教育長	部長	課長	課長補佐	係長	係

記録者
武藤

学校給食センター会議録

【南部センター】

会議名	令和7年度第1回佐久市学校給食南部センター献立委員会		
開催日時	令和7年6月27日（金） 午後4時00分～4時50分		
会議場所	学校給食南部センター 2階研修室		
出席者	献立委員 18名（欠席者3名）		
	事務局 3名	（別紙出欠表のとおり）	

議事録	
1 開会	進行 武藤
2 委員長あいさつ	高橋委員長（野沢中学校長）
3 自己紹介	出席者自己紹介（委員→事務局）
4 会議事項	議事進行 高橋委員長
	（1）給食会計の基本事項等について（武藤より説明）
	（2）令和7年度献立について（荻原学校栄養職員・片桐栄養教諭より説明）
	（3）アレルギー対応食について（工藤栄養士より説明）
	（4）その他
	・学校給食における栄養アセスメントについて（片桐栄養教諭）
	・令和7年度児童生徒の食に関する実態調査の実施について（片桐栄養教諭）
	・令和8年度新入学児童・生徒食物アレルギー調査について（工藤栄養士）
質問・意見等	
質問	給食費について、物価高騰・米価高騰の中、金額以上の給食を提供してもらい感謝しているが、この金額でやっていけるのか。
回答	物価高騰に対応するため10年据え置きだった給食費を昨年度40円上げたが、急激な増額は保護者負担も大きいため昨年度20円、今年度10円を補助しており、来年度は補助はなくなる計画。また、米価高騰に対しては保護者の負担増を避けるためセンター予算に直接補助している。物価高騰が続く中、栄養士の工夫に頼らざるを得ないが、給食費の在り方や増額すべきかについて栄養士とも相談しながら進めていきたい。
意見	多子世帯のため10円でも上がると大変。少子化にもつながるのではないかと。
回答	給食費が10円上がると年間約2,000円保護者の負担が増える。市が10円を補助するためには1,500万円予算が必要で、給食費を無償化するとなると5億円必要になる。給食センターの運営には6～7億円かかっており、給食にかかる費用の約半分を保護者に負担いただいている計算。国では小学生の給食費無償化について検討されているが、動向を見ながら対応を検討していきたい。
質問	①美生柑が苦手な子が多く残食も多い。別の果物にしたら残食が減るのでは。

	②夏は汗をかくので、6～8月は味噌汁をもう少し濃くしても良いのでは。
回答	検討します。
意見	児童に給食についてヒアリングを行ったところ「甘い物が食べたい」との意見があった。炭水化物よりも糖分摂取が分かりやすいと思う。
質問	移住してきた。東京より食材の金額が安い、給食費も他県と比べて安いのか。
回答	令和5年度文科省の調査によると、長野県の給食費は高め。ただし、昨今の物価高騰で非常に苦しいところ。佐久市は安くもないが、極端に高くもない。
意見	近所から野菜をもらうことがある。そういう物は形が悪かったり、定期的に必要量を確保することは難しいと思うが、そういった安くできるような物をもう少し検討しても良いのではないか。
質問	子どもに「おいしかったから作って」と言われるが、給食のレシピはサイトに載っているか。
回答	サイトはないが、お便りにたくさん載せられるようにしたい。
質問	①身長体重調査や食の調査はずっと実施しているのか。②身長体重の平均データはあるか。③調査結果は何に活用しているのか。
回答	①実施している。②データは各学校ごとにある。③例えば朝食を食べない場合には原因も調査しているため、指導につなげる。
質問	朝食を食べない子どもが多いが、朝食を提供することは難しいか。サンドイッチでも良いので提供できないか。
回答	センターで朝食を提供することは想定していない。
質問	朝食を食べないと回答した子どもに対して、何を指導しているのか。
回答	原因などを確認し、家庭の事情もあるので強くは言えない部分もあるが、朝食に簡単なレシピの提供などを行なっている。
意見	調査結果が活用しきれていないと思う。地域に情報共有し、ボランティアで子ども食堂のように朝食を提供すれば、子どものためだけでなく高齢者の生きがいや引きこもりの減少にも繋がる。給食を通じて地域コミュニティやつながりを作れないか。アンケートをそういったことに活用すれば意味があると思う。
委員長まとめ	最後の意見については、一番の基本は、家庭で朝食を食べさせて送り出している。それでも食べない子をどうするのか、という2～3段階あとの話だと思う。家庭で子どもに朝食を、ということも学校でも考えないといけないし、PTAの方にもお話しいただくなど皆で協力していけば、外の力に頼らなくても済むのではないか。子どもたちの健康を守るために、それぞれの立場でこれからもご協力をいただければと思う。
9 閉会	